



医師であるという絆で結ばれることの重要性が、短期的な有益性を超えた普遍的価値としてあることをアピールしていきたい。



沖縄県福祉保健部保健衛生統括監  
宮里 達也 先生

**Q1.** 今年4月に福祉保健部保健衛生統括監に就任されましたが、ご感想と今後の抱負をお聞かせください。

2月ごろ、前任者の高江洲統括監（現宮古保健所長）から「自分の後任はお前がやるように」との話があり、当時の伊波部長からも「是非引き受けるように」との電話がありました。

正直なところ受けるべきか否かたいへん迷いました。私は生まれ島のヤンバルで職務を全うしたいとの強い希望で北部に赴任して一年目であったこと、赴任後、以前までは関係が壊れていた県立、医師会立の両病院関係が、大城北部地区医師会長や大久保、諸喜田の両病院長の全面的なご協力があり、月一回の情報交換会を持つなど急速に関係性が改善していたこと。また、せっかく新しい体制に慣れつつある市町村の関係者にご迷惑をかけてしまうし、年齢もはや職責を全うするにはとりすぎていると考えたからでした。

一度は高江洲統括監にお断りしたのですが、「断られても困る」といわれました。何人かのヤンバルや医師会の先輩方に相談しました。皆に「大変だと思うが、頑張るように」と励まされ、微力ではありますが、頑張ってみようかと考えました。

せっかく県全体の保健医療の責任ある立場に

就くわけですから、どういった心構えで仕事を進めていくべきかについて多くの関係者とごっくばらんな意見交換をしました。皆さんが共通して語ることは、主旨として次の三点であることがわかりました。

- ・大学、県立などの公立や私立の病院、身近な診療所あるいは歯科医院や薬局等、地域には多様な医療機能が存在する。それぞれが自らの果たすべき責任を果たしつつ、連携を強化して、あたかもひとつの総合病院であるかのように機能させ県民に貢献する。
- ・三つの研修医プログラムが、それぞれ切磋琢磨するとともに連携し、日本一の人材育成地域と評価されるようにする。
- ・全国の研究機関と積極的に交流し、治験やコホート研究等をすすめる医学の進歩に貢献できるようにする。

おそらく沖縄県の多くの医療関係者が思い描く共通の理念なのだと思います。微力ではありますが、皆様方のこの強い思いを少しでも前進させるよう日々の行政活動を行っていかうと考えています。

**Q2.** 県内での新型インフルエンザの感染の勢いは止まることなく、増加の一途をたどり、死亡例も発生するなど深刻な状態になって

おり、その対応に大変ご苦労されていると推察されます。県でのインフルエンザ対策の現状と予想されている第二波に向けての今後の対応についてお聞かせ下さい。

4月下旬のメキシコ発の豚インフルエンザ発生の報道直後から、知事をトップとして対策にあたっています。最初に知事室に呼ばれたときのことは鮮明に覚えています。知事をはじめとした幹部の皆様方は、どなたも相当険しい顔でした。

知事の質問は、今後想定される事態はどういうことで、福祉保健部としてどういった対応策を準備しているかといったことでした。

まず感染症法で規定され、国・県で準備している新型インフルエンザ対策の概要を説明し、インフルエンザという病気の歴史、性質からすれば遅かれ早かれ沖縄でも流行が起きますと話しました。そのさい最も肝心なことは「流行の阻止ではなく、社会機能をできるだけ健全に維持しつつ、被害の最小化に努める」ことだと思いと説明しました。

幹部の皆さんはよく理解できたということでしたので、部屋を出るため立ち上がって「失礼します」とお辞儀をしたところ、知事から思いもしない言葉が発せられました。「顔が麻生総理によく似ているな。君の話し方は人に安心を与えるから頑張ってください。」予期せぬその言葉にずっこけ、テーブルに頭をぶつけてしまい「ごつーん」と部屋に音が響き、一同大笑いになりました。

以後、知事は私や糸数班長で構成する対策班を大いに信頼して任せてくれています。危機に直面したトップリーダーのあるべき姿を見た思いがしました。

米軍基地があり人的交流の活発な沖縄県は、国内でも早く患者が確認される県ではとの大方の見方に反して、最初の患者が発生したのは6月29日と遅くなりました。しかし、7月後半からあっという間に、全国に先行して流行が拡大してしまいました。重症者が多数発生し、現場の危機感と疲弊感が一気に進む事態になりま

した。

その時期、何人かの人から「非常事態宣言」をとの意見も寄せられました。実際、県幹部内でそのことを検討しましたが、社会機能の健全性が大きく損なわれることからその意見は採用しませんでした。また、多くのマスコミの方からは「どうして沖縄で流行したのか。流行を抑えるため行政は何をするのか」といった批判的な視点からの取材が多く寄せられました。特に全国初の死亡例を発表したころはそれがピークでした。

第一波は沖縄の医療の底力で乗り越えることができました。関係者会合での知事からの感謝の言葉にもありましたように、現場の先生方や医師会、看護協会といった関係者の皆様の責任感と献身の心が県民の危機を救ったのだと思います。

タミフル耐性ウイルスが主流にならないかとか、予防接種は平穏に行えるかなど、まだまだ何が起こるかはっきりしないこともあります。しかしながら、関係者の皆様方の全面的な協力でこの危機を乗り越えることができると確信しています。今後ともご指導、ご協力よろしくお願ひします。

**Q3. この度の補正予算で地域医療再生計画事業が策定され、現在、宮里統括監が中心となって本県の計画をまとめられていると思いますが、計画の概要並びに進捗状況、採択の見通し等、可能な範囲でお聞かせ下さい。**

前政権の緊急経済対策の一環で、各県で指定する二医療圏に少なくとも25億円づつ（全国で10箇所は100億円）があてがわれる話が急に決まりました。こんなまとまったお金が、地域の医療機能の再編と人材確保に資することといった大きな用途制限（目的）があるものの、運用上は地域の事情をひろく考慮してくれるとのことなので、関係者の期待は大きく膨らんでいます。

県としては、求められている二つの医療圏を「北部医療圏」と宮古、八重山圏を合体し「離島

医療圏」とするよう構想しました。これらの圏域では人材確保が長年の課題であったからです。

これらの地域の人材確保には、研修医をはじめとした人材育成をさらに強化していくことが必要で、そのためにこのお金を使うべきだろうと考えました。そこで、玉城参与とも相談して、琉球大学、県立病院、群星の三つの研修医をお世話している先生方に急遽県庁に集まっていただいて、今必要な具体的施策について自由な意見交換をしました。さらに、文書で各地区医師会などの関係者に広く意見を求めました。

各方面との調整の後、計画素案を作り、9月10日に上京し、厚労省の担当課長補佐と5時間という長時間の調整を行いました。

調整の過程では非常に戸惑いを感じるが多々ありました。日本医師会等からの質問への回答では、この予算はかなり自由に使えるようなニュアンスの回答だったように思っていたのですが、担当レベルでは当初の補助金要綱に示された目的に合致したもの以外は認めがたいこと。また、宮古、八重山の二つの医療圏を合体して、仮想の離島圏域とすることが認められるかは、上司と相談しなければならないので、即答できないとのことでした。

この予算の執行に関しては、最終的には国の承認が必要で予断を許しません。しかし、検討の経過で、大屋祐輔教授をはじめとした琉球大学関係者、群星の宮城征四郎先生や城間寛先生、あるいは県立病院の研修担当の先生方の一致した意見として、今回の予算で是非沖縄に「メディカルシミュレーションセンター」の設立をという強い思いのあることを知りました。私としてはなんとしてもこれだけは頑張らなければならないと考えています。

その他、個々の情報は、必要に応じ皆様にお知らせしていこうと思っていますのでよろしくお願ひします。

**Q4. 本会や日本医師会に対するご意見・ご要望がございましたら、お聞かせください。**

医師会活動は、健全な医療体制構築に極めて重要なものと考えます。その意味で、若い世代の加入率の低下が懸念されており、心配しております。今回の新型インフルエンザ対策においても、医師会の全面的な協力がなければ大変なことになっていただろうと思います。

入会でこういった具体的メリットがあるのかといった自己中心的になりがちな風潮が広がっています。しかし、医師であるという絆で結ばれることの重要性が、短期的な有益性を超えた普遍的価値としてあるのだということをもっとアピールしていくべきなのだろうと思います。このことを伝えるのは、私のような年をくった者の、若い方々にたいする責務であると考えています。

**Q5. 最後に日頃の健康法、趣味、座右の銘等がございましたら、是非お聞かせください。**

座右の銘などといった大げさなものではありませんが、小さいころから祖父に「マクトゥシヨー！マクトゥソーレーナクルナイサ（誠実であれば何とかなっていく）」と諭されてきました。困難に直面した際には今もその言葉がよみがえります。

趣味は碁を打つことです。前南部地区会長の永山先生や久米島病院長の村田先生らと時々楽しんでます。また、歌うことが好きでカラオケもよく行っています。

医師会の活動は行政にとって最も大切なものと考えていますので、今後ともご指導ご協力よろしくお願ひします。

この度は、インタビューへご回答いただき、誠にありがとうございました。

インタビューアー：広報担当理事 當銘 正彦